

経営比較分析表（令和6年度決算）

香川県 丸亀市

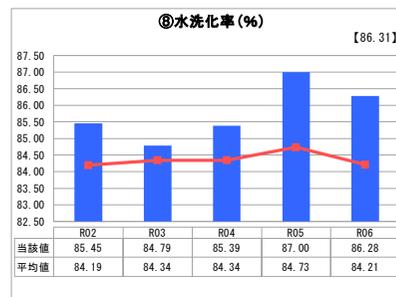
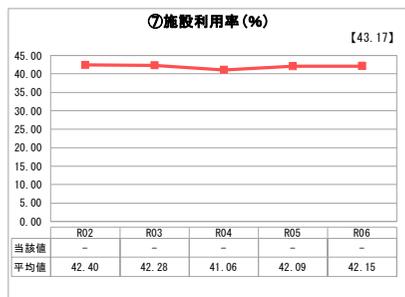
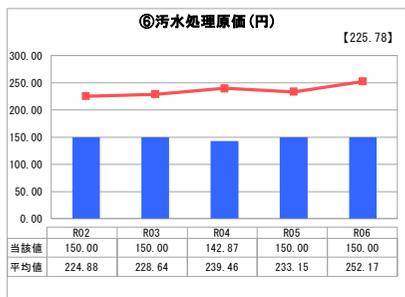
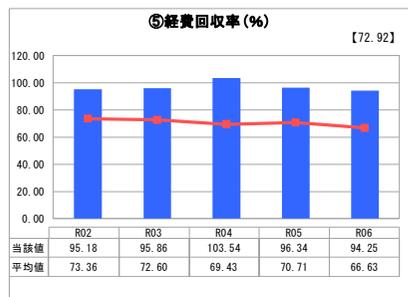
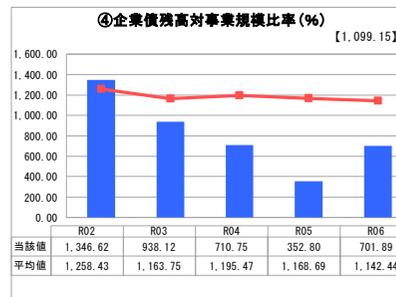
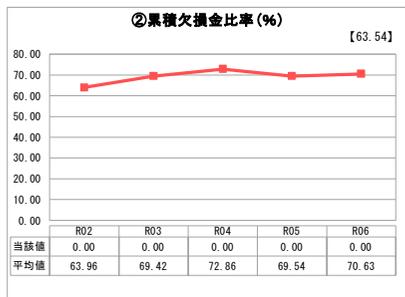
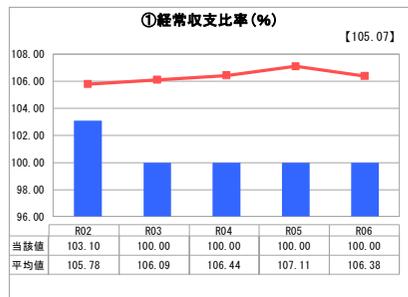
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料(円)
-	56.23	3.13	83.33	2,530

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
110,803	111.83	990.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,463	1.39	2,491.37

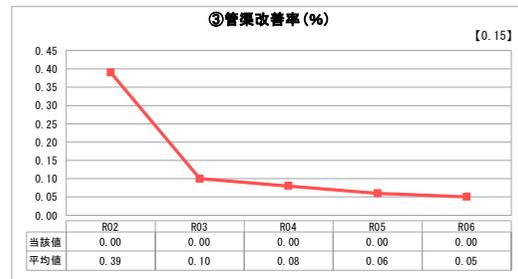
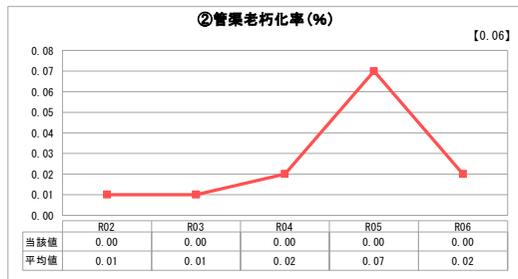
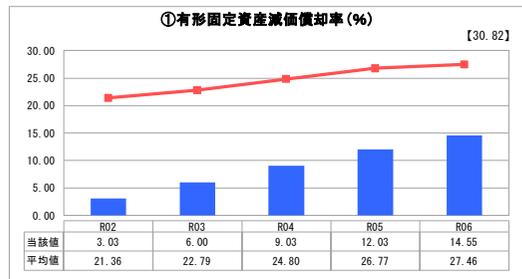
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの繰入金により経常収支比率は100%を維持しているものの、類似団体平均値より低い状況が続いている。汚水処理原価については、類似団体平均値を下回っており、比較的効率的な汚水処理が行われていると考えられる。しかし、使用料改定の実施により100%を超えていた経費回収率は、使用料収入の減少に伴い、類似団体平均値を上回ってはいるものの、再び100%を下回る結果となっている。有収水量も減少傾向にあることから、継続的な経費削減等の取り組みが必要である。

企業債償還対事業規模比率についても、類似団体平均よりも低く抑えられているが、使用料収入に対しては依然として高い比率にある。

流動比率については上昇したものの、依然として類似団体平均値を大幅に下回っている。ただし、未払金や企業債償還金については、それぞれに財源の確保を見込んでいるため、支払能力には問題はない。

施設利用率については、中讃流域下水道へ接続しているため終末処理場を有しておらず、該当する指標はない。

水洗化率は、3ヵ年（令和4年度～令和6年度）の水洗化促進活動計画の推進により前年度から上昇し、類似団体平均値を上回ることができている。今後も下水道への接続依頼を継続することにより、さらなる水洗化率の向上を図る。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が類似団体平均を大きく下回っている要因は、令和2年度の地方公営企業法一部適用開始時に、各固定資産の取得価格を、その時点での残存価格で計上したことにある。しかし、各年度で減価償却を行っていることから、当該指標は上昇している。なお、供用開始から約20年と比較的新しいため、管渠老朽化率は低く、現在のところ管渠改善は行っていない。今後も事業計画に基づき、管渠の新設工事を進めていく。

全体総括

供用開始から比較的新しい事業であることから、主に事業計画に沿った管渠の新設工事を実施している。中讃流域下水道へ接続し、独自の終末処理場を持たないため、維持管理費用や建設費用を低く抑えることができ、経費回収率や汚水処理原価は類似団体平均値に比べて良好な状況にある。しかし、経営状況を見ると、経常収支比率は100%を上回っているものの、その多くを一般会計からの繰入金に依存していることから、安定的な状態であるとは言えない。さらに、100%を上回っていた経費回収率も低下傾向にあり、今後も人口減少等により有収水量が減少傾向になると見込まれることから、継続的な業務改善が必要である。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。